

当協会篠原理事長、IMO 事務局長を表敬訪問
～国際海運における中期対策や地域規制、航行安全等について意見交換～

当協会の篠原理事長は、2025年9月15日にIMO（国際海事機関：本部 英国・ロンドン）のアルセニオ・ドミンゲス事務局長を表敬訪問しました。その中で、国際海運を巡る主要課題として、本年10月に予定されているIMOの温室効果ガス削減に向けた中期対策の採択に関して、その見通しについて意見交換を行い、同事務局長からは積極的な見解が示されました。これに関連し、地域規制への懸念と、中期対策が採択された場合には地域規制のグローバル規制への移行・代替が進められるべきとの認識を共有しました。また、中東・紅海地域における船舶の安全な航行確保の重要性について、IMOによる国際的なイニシアティブへの期待を表明しました。さらに、アジア船主協会(ASA)がIMOのオブザーバーとなるための今後の課題や必要なステップについても意見交換しました。

なお、篠原理事長はこの会談に先立ち、ICS（国際海運集会所）本部も訪問し、新たに就任したカザコス事務局長やベネット副事務局長と会談し、当協会として、ICSの会議等の場において従来以上に積極的に発信を行い、アジアの声がより反映されるよう努力していく考えであることや、我が国の自動車専用船やLNG船の高い世界シェアに鑑み、10月に施行が迫るUSTRの措置の撤廃に向けてICSと緊密に協力していきたいことなどを伝達し、同事務局長からは当協会の長年にわたる貢献への謝意と、さらに当協会と連携を深めていく考えであることが表明されました。

当協会は、IMO並びにICSとの緊密な連携を通じて、国際海運の持続可能な発展と安全航行の確保に引き続き貢献してまいります。

《IMO 事務局長への表敬訪問》



（左：篠原理事長、右：ドミンゲス事務局長）



（左：ドミンゲス事務局長、右：篠原理事長）

2025年9月17日
一般社団法人 日本船主協会

《ICS 事務局長への表敬訪問》



(左から、ベネット副事務局長、篠原理事長、カザコス事務局長)